

独立型社会福祉士実践報告会 in やまぐち 報告書

日 時：平成 28 年 10 月 29 日 10 時 30 分から 16 時 30 分

会 場：山口県社会福祉会館 大ホール

プログラム：1) 山口県独立型社会福祉士委員会 活動報告 委員長 鬼木泰子

2) グループワーク 「語ろう、熱き想い」

(独立型) 社会福祉士として実践したいこと

～そのためには何が必要ですか～

講評 山口県社会福祉士会 会長 白石義彦

3) 実践報告① 池永泰典 社会福祉相談所～空～

4) 実践報告② 小林大亮 そらとうみのたまご舎

5) 基調講演 鹿嶋隆志氏「社会福祉士のミッションとパッションと…」

(日本社会福祉士会 理事/独立型社会福祉士委員会 委員長)

参加者：29名(県内社会福祉士20名、県外社会福祉士9名)

報告者：山口県独立型社会福祉士委員会 委員長 鬼木泰子

報告書作成日：平成 28 年 11 月 9 日

独立型社会福祉士がどんな活動をしているか、その可能性は何か、果たすべき役割を一緒に考える目的で、「情熱と使命！ないものは作る」をテーマに実践報告会を開催しました。

ひざの上に円形段ボールを置いてのグループワークは、より近くにメンバーを感じて「社会福祉士として実践したいこと」を熱く語り合うことができました。白石会長からは、グループワークの講評とともに「独立型社会福祉士は常に見られていることを忘れるな」と激励をいただきました。

次に、池永さん、小林さんが実践報告を行い、70分からは理念や看板の由来など質問も出され、独立型社会福祉士の活動内容、可能性などお聞きすることが出来ました。

基調講演として、日本社会福祉士会理事/独立型社会福祉士委員会委員長の鹿嶋隆志氏をお招きして、ご講演をいただきました。鹿嶋氏からは、独立型社会福祉士としての活動は、『PASSION と MISSION だけでなく VISION を！』と課題をいただきました。

このたびの実践報告会を通して、独立型社会福祉士の相互連携の強化及び今後独立型社会福祉士を目指す者への情報提供の機会となり、独立型の可能性や果たすべき役割について学ぶことが出来ました。また、独立型社会福祉士として活躍されておられる方々の事務所のご自慢の看板、活動内容を紹介する企画を設け、県内外から情報提供いただきました。有難うございました。

【看板を提供いただいた方(五十音順・敬称略)】

池永泰典(福祉相談所～空～)

岩金俊充(いわかね社会福祉士事務所)

鬼木泰子(鬼木事務所)

金江浩子(お茶の間社会福祉士事務所)

神足辰彦(有限会社生活サポーターおりづる)

小林大亮(そらとうみのたまご舎)

讚井康一(結い後見事務所)

徳淵義信(徳淵社会福祉士事務所)

豊嶋則子(つばさ社会福祉士事務所)

服部恭弥(有限会社けあぼーと徳山)

藤井あゆみ(ふじいあゆみ社会福祉士事務所)

室本好重(合同会社歩夢)

山本孝博(有限会社酔風企画)

吉浦正男(おでかけ福祉相談室吉浦社会福祉士行政書士事務所)



【基調講演：鹿嶋隆志氏】



【グループワーク：えんたくん】